

農業用水の渇水状況及び緊急対策事業について

6月下旬以降、降雨の少ない状況が継続したことから、農業用水の渇水状況が続き、渇水調整を実施してきました。以下のとおり、主な水系等の状況及び緊急対策事業の実施について報告します。

1. 斐伊川水系

(1) 尾原ダムの貯水率

8月27日午前8時時点 68.1% (貯水率最小値8月7日:21.6%)

(2) 各種渇水対策会議の実施状況

6月30日 第1回斐伊川渇水調整協議会幹事会

7月15日 第2回斐伊川渇水調整協議会幹事会

7月25日 第1回斐伊川渇水調整協議会

7月31日 第2回斐伊川渇水調整協議会

(3) 渇水調整の実施状況

渇水調整段階	開始日	調整内容
第一次渇水調整	7月7日 (貯水率:72.6%)	上島地点の確保流量を30%カット (15.2 m ³ /s→10.6 m ³ /s)
第二次渇水調整	7月14日 (貯水率:62.3%)	上島地点の確保流量を40%カット (15.2 m ³ /s→9.1 m ³ /s)
第三次渇水調整	7月25日 (貯水率:51.2%)	上島地点の確保流量を50%カット (15.2 m ³ /s→7.6 m ³ /s)
第四次渇水調整	8月4日 (貯水率:26.7%)	上島地点の確保流量を70%カット (15.2 m ³ /s→4.6 m ³ /s)

なお、貯水率は21.6%まで下がりましたが、その後の降雨により回復し、現在は第二次渇水調整段階です。

(4) 本市の対応

8月4日に貯水率が30%を下回ったため、第四次渇水調整として、上島地点の確保流量が70%カット (15.2 m³/s→4.6 m³/s) となり、平田地域を中心に農業用水の取水に影響が出始めたことから、以下のとおり対策会議等を開催し、今後の取水調整を検討しました。

8月6日 出雲市斐伊川渇水対策会議

8月7日 出雲市渇水対策会議

8月8日 出雲、大社地域土木委員長等関係者説明会
 鳶巣、平田地域土木委員長等関係者説明会
 斐川地域土木委員説明会

2. 神戸川水系

(1) 志津見ダムの貯水率

8月27日午前8時時点 93.3% (貯水率最小値8月7日:49.9%)

(2) 各種渇水対策会議の実施状況

8月1日 第1回神戸川渇水調整協議会幹事会

8月6日 神戸川来島ダム水利等調整員会水利権者出雲市代表委員協議

(3) 渇水調整の実施計画

渇水調整段階	実施基準	調整内容
第一次渇水調整	貯水率 35～25%	馬木地点の確保流量を 10%カット (4.4 m ³ /s→3.96 m ³ /s)
第二次渇水調整	貯水率 25～10%	馬木地点の確保流量を 20%カット (4.4 m ³ /s→3.52 m ³ /s)
第三次渇水調整	貯水率 10%以下	馬木地点の確保流量を 30%カット (4.4 m ³ /s→3.08 m ³ /s)

なお、貯水率は 49.9%まで下がりましたが、その後の降雨により回復し、渇水調整は実施されていません。

3. 稗原ダム

(1) 稗原ダムの貯水率

8月27日午前8時時点 42.5% (貯水率最小値8月9日:13.8%)

(2) 各種渇水対策会議の実施状況

- 6月9日 稗原ダム水利委員会との協議
- 6月19日 稗原ダム水利委員会との協議
- 7月12日 第1回渇水対策会議
- 7月25日 第2回渇水対策会議
- 8月1日 第3回渇水対策会議
- 8月2日 稗原地区土木委員会

(3) 渇水調整の実施状況

- ・河川放流量 (環境放流 0.058 m³/s→0.0455 m³/s) の調整 (貯水率:69.6%)
- ・ため池からの補給実施 (貯水率:40.0%)
- ・パイプラインの流量調整 (貯水率:40.0%)
- ・農業者による利用調整 (夜間の利用制限、1日おきの利用) (貯水率:20.9%)

4. 渇水に対する緊急対策事業

仮設ポンプの設置、散水車による散水、送水等の農業用水確保対策への支援

- ・出雲農業未来の懸け橋事業 (市、JA 共同事業)
対象期間:令和7年7月25日～9月15日、申請受付締切:令和7年9月30日
- ・県単農地有効利用支援整備事業 (県)
対象期間:令和7年6月27日～9月30日、申請受付締切:令和7年9月30日
- ・水利施設管理強化事業 (国)
対象期間:令和7年8月1日～

5. 渇水による農作物の被害状況

柿、いちじく、梨:生育不良の可能性あり